

吉田病院だより

ゆうゆう VOL. 7

悠生会の理念

「ゆったりとした心で過ごせる」ように
患者様の心身の健康を守ります。

発行日 平成20年 4月 吉日

花見に行ってきました。

作業療法士
瀬口 直生

リハビリテーション課では、作業療法の活動として様々な行事を、年間を通して予定しております。4月は毎年恒例の「花見」に行ってきました。場所は延岡市天下町にある植物園、参加患者様は48名でした。

現地到着し、スタッフや他患者様と共に散歩したり、広場でボール遊びをしたりと自由に過ごして頂きました。休憩時にはパンとジュースを配り、皆様とても喜んで美味しく食べていました。

「花見」の行事目的として、季節に合った活動を実施する事で季節感を感じ、気分転換、活動性の向上を図っています。各患者様の院内で見る事の出来ない素晴らしい笑顔がそこでは見る事が出来ました。

患者様の院内生活における楽しみの一つである年間行事。スタッフが綿密な準備をする事は勿論、その場での声かけ一つや気遣い、雰囲気作りが大切であると考えます。

今後も患者様が、より楽しくより喜んで満足して頂ける様に充実した活動を実施していきたいと思っております。



今後の作業療法活動予定

- 5月 病院対抗ソフトボール大会
- 6月 院内グランドゴルフ大会
- 7月 海水浴
- 8月 院内ミニバレー大会
- 9月 なし・ぶどう狩り
延岡地区スポーツ大会
- 10月 院内グランドゴルフ大会
- 11月 みかん狩り
病院対抗ソフトボール大会
- 12月 クリスマス会



夕刊デイリー新聞社が主催する『デイリー健康大学』、第二回講演が平成20年1月15日に開催され、当院の清水謙祐医師がめまいについての講演を行いました。今回の解体心書では、この講演内容を紹介させていただきます。

- ・ めまいは、内科（神経、循環器）外科（整形、脳神経）産婦人科、小児科、耳鼻科、精神科など、複数の診療科にまたがっている疾患で、しばしば診断が困難であり、そしてその治療についても様々である。
- ・ ときに、「めまいは治らない」、「完治しない」という話を聞くことがある。たしかに、めまいはストレスと関連があり、繰り返すことが度々で、完治は困難であることが多い。めまい患者の68%に何らかの心理検査での異常が認められたとの報告があり、心理的なアプローチを必要とする場合もある。しかし、薬物による治療で6割の患者さんは日常生活の可能なレベルに短期間で到達できる。その他の患者さんも、ストレスや日常生活に気をつけて、内耳障害、脳障害に対して根気強くアプローチを続ければ、ほとんどのめまいについては軽快させることが出来るため、めまいの程度を日常生活のできるレベルまで改善させることは十分可能である。
- ・ 「めまいがあるので不安だ」という話を聞くが、「不安」はすべての疾患を悪化させる。しかし、医師がめまいの診断をしっかりと行い、めまいについての説明を行って患者さんを安心させるだけで、かなりの患者さんのめまいが軽減する。安心することは、とても大切なことである。「めまいは治らない、怖い、不安」と思い悩むより、「ちゃんとした検査をして診断がつけば、軽快することが可能だ、安心だ、大丈夫だ」ということを、心に留めて頂きたい。

当日は、上記の内容以外に、めまいが起こる仕組み・原因についての説明がスライドを用いて行われました。

いちごのレアチーズケーキの作り方

管理栄養士
石元 美穂

～材料～

クリームチーズ 200g
ヨーグルト 150g
ゼラチン 10g
ビスケット 60g

～トッピング～

いちご 200g
砂糖 50g
水 90g
バター 30g
生クリーム
いちごジャム

作り方

1. ゼラチンは水でふやかしておく。いちごはミキサーにかける。
2. ビスケットを袋に入れ、麺棒などでたたいて砕く。砕いたビスケットをボウルに移し、レンジに30秒ほどかけ溶かしたバターと混ぜ合わせ、型に敷き詰め、冷蔵庫で冷しておく。
3. ボウルにクリームチーズと砂糖を入れ、泡だて器でよく混ぜる。なめらかになったらヨーグルト、いちごの順で加え、その都度よく混ぜる。
4. レンジに20秒ほどかけて溶かしたゼラチンを3に加えてよく混ぜ、ビスケットを敷き詰めた型に流し入れ、冷蔵庫で1時間以上冷やし固めて完成。
5. お好みで生クリームやいちごジャムを添えてどうぞ。



医師紹介

皆さん、こんにちは。このコーナーでは、当院に新しく勤務される事になった医師を紹介致します。どうぞよろしくお願いいたします

早川 國男（はやかわ くにお）医師



本籍地 鹿児島県
生年月日 昭和3年2月6日
専門 小児科（特に小児循環器科）
好きな事
おいしいものを食べる事
車に乗って眠る事
毎朝早く起きて歩く事
おしゃれをする事

ご挨拶

昨年12月より吉田病院に縁あって勤務しております。右も左も分からぬ精神科の分野でまた新しく学ぶ事の楽しさに目覚めつつあります。年齢的にはすでに老人と言われるかもしれませんが、まだまだ若い皆さんと共に、あるいはそれ以上(?)に頑張りたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

【経歴】

昭和23年3月 第七高等学校理科乙類卒業
昭和23年4月 熊本医科大学入学
昭和27年3月 熊本医科大学卒業
昭和27年4月 鹿児島市立病院研修
昭和28年4月 鹿児島県立医科大学小児科入局
昭和28年9月 鹿児島県立医科大学小児科助手
昭和32年4月 鹿児島県立医科大学小児科講師
昭和33年1月 鹿児島大学医学部小児科助教授
昭和44年7月 ハーバード大学小児病院留学
(在外研究員並びに客員講師)
昭和45年8月 鹿児島大学医学部小児科助教授
昭和50年4月 宮崎医科大学医学部小児科教授
平成4年9月 宮崎医科大学名誉教授

角田 由美子（つのだ ゆみこ）医師



専門 内科、リハビリテーション科
趣味 ウォーキング
その他 一男一女の母

ご挨拶

認知症に関わったことから、精神科に興味をもち、平成18年6月より精神科に勤務し、平成20年2月より当院に勤務しています。

認知症の患者様に親しみを感じるのは、私の忘れっぽい性格に起因するものでしょうか？精神科という新たな挑戦に緊張していますが、どうぞ宜しくお願い致します。

【経歴】

昭和54年4月 金沢医科大学医学部入学
昭和61年3月 金沢医科大学医学部卒業
昭和61年4月 宮崎医科大学第一内科入局
昭和63年6月 潤和会記念病院勤務
平成1年6月 延岡リハビリテーション病院勤務
平成8年6月 平田病院勤務
平成18年6月 隆誠会延岡保養園勤務

頑張れ！吉田病院野球部！！

今年も野球のシーズンが開幕となりました。

昨年は天皇賜杯全日本軟式野球大会に出場しましたが、初戦敗退という結果でオフシーズンから心新たにトレーニングに励んで参りました。今年の目標は、天皇賜杯2連覇ということでチーム一丸となって練習に取り組んでおります。

先日、今年の第一戦である九連会長杯宮崎県大会が行われましたが、3試合とも無失点という結果で優勝を勝ちとり、最高のスタートが切れたのではないかと考えております。

まだまだ全体的にミスが目立ちますが、5月の国体予選、7月の天皇賜杯予選に照準をしばり、頑張っていきたいと考えております。

4/19,20 九州連合会長杯宮崎県大会（日南市）

1回戦 吉田病院 1-0 ボンバーズ（宮崎）
準決勝 吉田病院 3-0 都城ライオンズ（都城）
決勝 吉田病院 7-0 オール北郷（日南）

今年の予定



5/16～5/18
九州連合会長杯九州大会（沖縄）
5/24,25
国民体育大会選考会（延岡・日向）
7/5,6,12
天皇賜杯選考会（日南・宮崎）
8/15～8/17
国民体育大会九州ブロック大会（宮崎）
9/12～9/17
天皇賜杯全日本軟式野球大会（埼玉）
10/3～10/7
国民体育大会（大分）
10/17～10/20
西日本大会（高知）

編集後記

広報誌「ゆうゆう」第7号いかがだったでしょうか。

当広報委員会にも新しいメンバーが増えました。これからは新しいメンバーと共に様々なアイデアを出し合いながら、皆様に興味をもって頂けるような広報誌を作成していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。（吉田病院広報委員会）

5病棟のお雛様！！



私達の病棟に大きなお雛様が来られました！

今年の2月中旬より“お雛様を作ろう”という声から、どうせ作るなら大きくて立体的なものを！と考えた結果、高さ150cm・幅100cmのお雛様が出来上がりました。工夫した所は体の安定にダンボールを何十にも重ねてみるめ、顔はシュレッダーの切りくずを使い、髪は黒いとんがり帽子を基礎に形作りました。一番は苦労した点は表情でしたが、とても上手く書けたと思います。

今年もこのお雛様のように何事もなく穏やかな一年でありますように！とお願いしました。（^^）（病棟師長 橋口政子）



医療法人悠生会

吉田病院

精神科・神経科 307床

受付時間 月～金 / 8:30～11:30 13:30～15:30

土 / 8:30～11:30

〒889-0511 宮崎県延岡市松原町4丁目8850番地

TEL(0982)37-0126 FAX(0982)37-0233

ホームページ <http://www.yoshida-hp.com>

メール info@yoshida-hp.com

